

# 南丹教育局 NEWS

## 第 53 号

### 「次世代文化継承・発展事業」

# 『落語体験学習』成果発表会

12月4日(火)亀岡市立保津小学校において「落語」発表会が行われました。これは、「次世代文化継承・発展事業」の一環としての学習で、7月から10回シリーズで練習を重ねてきた成果発表です。

当日は、授業参観日として位置付け、多くの保護者・地域の方々に参観していただきました。「落語」を通して、いろいろな人との「つながり」や「ことばの力」の大切さを学ぶ機会となり大きな成果が見られました。



### 第5回 お弟子の二葉さん登場！ 10月16日(火)



目だけじゃなしに、顔も向けてね。

**大阪弁のイントネーションもむずかしい！** 亀岡の言葉とは、微妙に異なる発音に戸惑うことも・・・そこで、お弟子の二葉さんに「道具屋」を披露していただきました。“張りのある大きな声”が子どもたちには、参考になったようです。二葉さんを見つめる目が、輝いていました。

師匠との一対一でのお稽古は、とっても緊張します。頭が真っ白になってしまい、覚えていたはずの台詞もどこかへ飛んでしまいます。また逆に、一旦覚えると、だんだん早口になってしまうこともあります。実際に「落語」を一席披露することは、思った以上にむずかしいことのようにです！

堂々と大きな声で。その方が、お客さんに伝わるからね。



### 第6回 役割分担にそって 10月26日(金)

今日みんなは、いつもと少し違う。やる気がみなぎっているようです。それもそのはず、17人全員の登場場面が決定したのです！

「動物園」と「道具屋」の間に「小咄」を入れて、一人一人が次の友だちにバトンタッチをしていきます。「間を置いて、場面を想像しながら、言ってね。」「お芝居やから、それらしい言うとお客さんに分かるからね。」

今日も、師匠からの適切なアドバイスが飛び出します。



### 第7~9回 台本を見ないで！ 11月2日(金)、13日(火)、20日(火)

「今日は、もう、覚えてき来たね。」  
「手ぬぐいと扇子を右手に持って、落とさないようにね。」

「見ると言うことは、ものすごく大事なこと。」  
「見る向きや、動作で落語が立体的になりますよ。」

師匠の言葉からは、大切なことがポンポン出てきました。いよいよ、最終段階です。



### 第10回 体育館でリハーサル！ 11月27日(火)

ステージには、赤い毛氈の掛かった高座と金屏風。浴衣に身を包んだ小さな落語家たちは、本番と同じ舞台を前に、少々緊張気味です。師匠からは、

- ・ことばをしっかりと伝えること。
- ・扇子を落とさないように持つこと。
- ・お客さんの前での発表は、1回だけだから、楽しむこと。
- ・でも、気を引きしめて、この調子で！！

と、アドバイスと激励をいただきました。



### 感想

落語をする時、話す人によって向きを変えるのはむずかしかったけれど、がんばって覚えることができました。(中略)本番は、とても緊張しました。でも、発表しているうちに、だんだん緊張がほぐれてきたので、みんなもそうだったのじゃないかなと思いました。緊張もしたけれど、とても楽しい落語発表会でした。これからも落語で学んだことを大切にしていきたいです。【児童】

テレビの中でしか見ることのない「落語」という世界を体験し、多くの人の前で発表することができたことは子ども達にとって、とてもよい経験だったと思います。緊張の中にも、楽しそうに発表している子ども達の顔がとても印象的でした。(中略)人の目を見て、言葉で自分の思いを相手に伝えるということの大切さを落語から学んだのではないのでしょうか。【保護者】

正直、おどろきました。予想外の出来栄だったのではないのでしょうか。皆とても立派でした。(中略)浴衣を身にまとうと、それらしい雰囲気になりました。子ども達の様子は、緊張している感じもなく、堂々としていて楽しんでいる様に見えました。たった10回の練習で台詞を覚え、手振り身振りを付け、本当によくやったと思います。このような経験をさせて頂きありがとうございます。子ども達ってやれば何でもできるのだ、不可能はないのだと改めて感じました。【保護者】